

通常嫌気性菌群での土壌改良促進材



菌太郎

(強力有機物分解・発酵・腐植促進材)

【 特 長 】

『菌太郎』に含まれる土壌有用微生物群が、有機物に付着する事で他の有害菌に先んじて分解（プロテアーゼ）とデンプン分解（アミラーゼ）と脂肪分解（リパーゼ）を促進し腐植土に変換していきます。

『菌太郎』に含まれる土壌有用微生物群は同時に土壌有害菌の増殖を抑止。

有機物をアミノ酸やビタミン、酵素や核酸など総じて「地力物質」に再合成！（硫化水素などの有害物質の発生はありません。）

有機物分解の最終物質は「腐植」ですが『菌太郎』に含まれる有用微生物群によって細かく分解された低分子の有機栄養素と、粘土鉱物中のFe（鉄）やAl（アルミニウム）が結合します。

「団粒構造」が形成され、その中に肥料・水や空気が含有されるようになり、有用微生物群の優勢な土壌となり作物が育ちやすい根圏が出来、連作障害を抑制する「良い土」が出来上がります。

【 施 用 方 法 】

※必ず「有機物」半生堆肥等併用しないと効果が有りません。

（畜産糞尿・緑肥・収穫残渣・雑草・稲麦わら・モミガラ等）

緑肥・収穫残渣等を刈り倒した後、もしくは半生堆肥をマニアスプレッダーに積み、その上から菌太郎液を5～10L散布し出来るだけ速やかにディスクハロー・ロータリー等で軽くすき込んで下さい。

【 菌太郎液の作り方 】

菌 太 郎 ... 100g ～ 200g / 10a

水 ... 50 ～ 100L / 10a

尿素(500g)を混用すると更に効果的です。

投入する有機物と添加するチッソの量

	N成分 (kg)	硫安 (kg)	尿素 (kg)	半生牛糞 (kg)	半生豚糞 (kg)	乾燥鶏糞 (kg)
(1t)						
稲わら (1t)	4	20	10	800	600	160
麦わら (1t)	6	30	15	1,200	1,000	240
モミガラ (1t)	4	20	10	800	600	160
木質系 (1t)	8	40	20	1,600	1,300	300

【 施用の注意 】

- ★必ず有機物（半生堆肥、残渣等）と併用して下さい。
- ほ場「全面散布」及び「作条散布」を原則とします。
- 『竹満作』と併用するとより効果が高まります。
- 施用後表層5～10cm以内にすき込んで下さい。
- 土壌殺菌剤を使用する時は完全にガス抜き後に散布して下さい。
- 「除草剤」との併用可能
- 「石灰チッソ」「殺菌剤」等との混用はお控え下さい。

【 成 分 】

土壌有用微生物群
 通性嫌気性菌（乳酸菌・酵母菌）
 好気性菌（有孢子乳酸菌・麹菌・枯草菌）
 賦形剤（グルコース・でんぷん）



【 内容量 】

2kg
 500g

